



三春中学校だより

第46号

発行日 令和元年12月24日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【立派な発表・成績でした！ ～冬休み前日集会を実施しました。～】

12月23日(月)の3校時目に冬休み前日集会を実施し、代表生徒によるこれまでの生活の振り返りとともに、新年への抱負についても発表がありました。各学年選りすぐりの生徒さんだけあって、その作文の内容・構成力・表現力・論理性どれをとってもすばらしいものがあり、聞く側の生徒も真剣なまなざしで発表に聞き入っていました。

また、受賞報告では、田村市1年生バレーボール大会で優勝したわが三春中学校男子バレーボール部の他、たくさんのお褒め報告があり、子どもたちの着実な心身の成長を感じ取れるすばらしい機会となりました。

平成31年度から令和元年度へ。歴史の大きな転換点を経験した子どもたち、そして、三春中学校は、これからも、『忠恕』『探究』『必達』のめざす生徒像のもと、新生三春中学校の7年目、そして、8年目の学校づくりに取り組んでまいりますので、これまで同様、どうぞよろしくお願いいたします。



【運転手さん、ありがとう！ ～焼酎のペットボトルには融雪剤が入っていました。～】

12月23日(月)の朝、本年度初めての積雪がありました。あたりは白く雪化粧され、地面には薄氷がはっていました。朝日が照らし出し、地面は少し溶け始め、つるつる感が増してきました。そこへ登場したのが、焼酎のペットボトルを抱えたスクールバスの運転手さん。「校門前は朝少し雪かきしたんだけど。凍りついちゃったな。」とおっしゃって、ペットボトルの中に入っていた融雪剤を校門前にまいてくださいました。バスの出発前に雪かきをしてくださったり、融雪剤をまいてくださったりと、私たちの気がつかないところでいろいろな方のお世話になっているおかげで、子どもたちの安全が保たれているんだなあとてもありがたい気持ちになりました。ちょっとまきの融雪剤はペットボトルでもいいと教えていただいたので、準備しておきたいと思います。運転手さん、ありがとうございます。



【道路事情に詳しい生徒さんたち！ ～この日は御木沢コースに同乗しました。～】

12月19日(木)のスクールバス同乗は御木沢コースでした。スクールバスいちばん前の定位置の隣の席をお借りし、危険箇所等の案内をお願いしてのスタートでした。少しドキッとしたのが町駐車場から道路に出る際の横断歩道を通る生徒さんの見にくさでした。辺りが暗く、見えるのはバスのヘッドライトの範囲のみ。生徒さんの姿がヘッドライトの照らす範囲に入ってくるまで気がつきませんでした。横断歩道だからといって、車の前を急に横切らないことも大切な交通安全のための指導事項として考えました。

町営体育館前の坂をまっすぐ下がっていくと県道との丁字路。無事右折し、国道288号を左折、クリニック前を右折、ここで隣の生徒さん、「この下り坂の途中の一時停止を止まらずにいく車が多いんですよ。」とのアドバイス。確かにこのY字路は危ないと感じました。駅前下車した生徒さんたちは信号を渡って団地の方へ。靴とジャージの反射テープの威力は抜群で、そこに人がいることがよくわかりました。「今日は校長先生が乗っているから信号をちゃんと守っています。」との一言も。その後も数々の危険ポイントをレクチャーされながらの同乗となりました。

最後の生徒さんを下ろして帰路へつき、八島台の道路を通っているとき、「この辺りは融雪剤がまかれない道路なんですよ。」とのお話。融雪剤をまいていいところとまけないところがあるというのを初めて知りました。融雪剤の代わりにそこには砂がまかれるということでした。

この日も安全運転で、学校まで乗せていただくことができました。



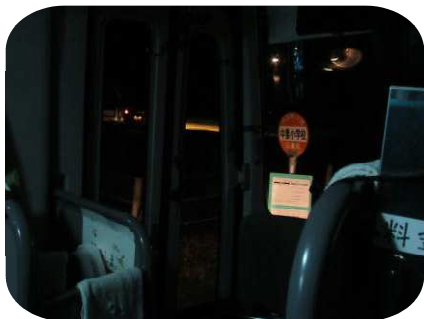
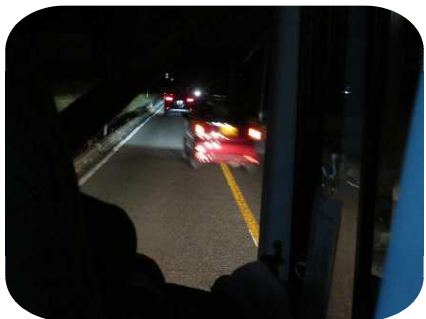
【バスの前後の横断厳禁！ ～最終日、鷹巣・沼沢・斎藤・西方コースに同乗しました。～】

スクールバス下校便同乗最終日は、鷹巣・沼沢・斎藤・西方コースでした。「ここ、私が座って邪魔じゃない？」と尋ねたところ、「全然そんなことはありません。(みんなのバスなので)どうぞ座ってください。」という返答が返ってきました。スクールバスは公共の乗り物だという生徒さんの考え方をとてもうれしく思いました。おかげさまで安心して座ることができました。

さて、はじめに気がついたのは、このコースは交通量の多い道路上で子どもたちが乗降する場所がほとんどだということでした。バスが止まっている片側車線の反対車線を後ろからやってきた車が追い越してきます。対向車が来ないか不安ですし、何より、停車しているバスの子どもたちが、道路の反対側の駐車スペースで待っている迎える車を見て、急いでスクールバスの前後を反対側に飛び出しはしないかととても不安でした。学校でもご家庭でも、“スクールバスの前後の横断・飛び出し”は決してしてはならないと再確認が必要だと強く感じました。

また、運転手さんは、斎藤から三春ダムに向かう下り坂、その先の上り坂の凍結時の危険性も教えてくださいました。「交差点で一旦停止したらのぼらなくなってしまった車がよくあるんです。」ということでした。お車で送迎の際も十分ご注意ください。

5コースすべてに同乗してみても、それぞれに注意しなければならない箇所を確認することができましたし、何より、各運転手さんたちが“安全第一”を最優先に、慎重に安全に運転してくださっていることがわかりました。これからいよいよ本格的な凍結シーズンを迎えます。スクールバスの運転手さんはいずれもベテランであり、5コースともいずれもが危険箇所をふまえ、安全にも安全を確認した上でスクールバスを運行してくださっています。同乗させていただきありがとうございました。これからも安全第一をお願いします。



【富士には月見草、学校にはやはり子どもたち！～冬休み1日目、校舎点検をしました。～】

太宰治は『富嶽百景』の中に、『三七七八米の富士の山と、立派に相對峙し、みぢんもゆるがず、なんと言ふのか、金剛力草とでも言ひたいくらゐ、けなげにすつくと立つてゐたあの月見草は、よかつた。富士には、月見草がよく似合ふ。』と書いています。雄大な富士山とかよわい月見草、月見草たる自分を励ます言葉であったのかもしれませんが。

冬休み第1日目の三春中学校。これまでお世話になった校舎の点検等のため校舎内を巡って歩きました。がらんとした人気のない1学年スペース、先生も生徒のみなさんもない数学科教室、図書スペースやメディアセンターも同様でした。やはり学校には、子どもたちの笑顔や歓声、友と語らう姿、生き方を見つめる真剣な目、そして、それに寄り添う先生方。やはり学校には子どもたちと先生方の姿が似合います。

